

故 今井 久夫 理事長・学長
学校法人大阪歯科大学葬 しめやかに営まれる



学校法人大阪歯科大学葬（平成19年9月16日）

**故 今井 久夫 理事長・学長
学校法人大阪歯科大学葬
しめやかに営まれる**

学校法人大阪歯科大学理事長・学長 故今井 久夫先生（享年 69 歳）の大学葬が、去る平成 19 年 9 月 16 日（日）午後 2 時から、本学楠葉学舎講堂においてしめやかに営まれました。

大学葬は、無宗教形式により行われ、学生・教職員、同窓生、国公立歯科大学・歯学部代表者、関係学会、各歯科医師会、外部団体関係者 848 名が参列しました。

今井先生は、平成 18 年 4 月から学長を兼ねて法人理事長として、まさに本学の教育、研究、管理運営の陣頭に立ち活躍をされました。その最中、平成 19 年 1 月に体調を崩され、入院を余儀なくされました。その後加療に専念されて 5 月には一時退院、教授会や理事会などの諸会議に元気なお姿をお見せになりましたが、7 月に再度入院ということになり、回復をお祈りしていたところ、平成 19 年 8 月 16 日（木）午後 5 時 50 分に急逝されました。

今井先生の逝去に伴い、平成 19 年 8 月 18 日に臨時理事会が開催され、理事長職務代行に村上 勝常務理事が、学長職務代行に川添 堯彬教授（理事・副学長）が就任しました。その後、理事会において大学葬を執り行うべく検討の結果、前例を踏まえ葬儀委員会形式が採られ、葬儀委員長には、村上理事長職務代行、葬儀副委員長に新田 孟常務理事、中村 正明副学長・常務理事、川添学長職務代行が就き、葬儀委員は、全役員（理事、監事）、全教授（教授、病院教授）、事務役職者が担当することになりました。

当日の大学葬は、参列者一同の黙祷ののち、まず、村上葬儀委員長が「今井先生が、亡くなられて、早くも一ヶ月となります。時を経るごとに、お顔を拝見することやお話することができないことへの喪失と深い悲しみをかみしめております。」との葬送の辞が述べられました。

引き続き、太田 房江大阪府知事をはじめ、江藤 一洋日本歯科医学会会長、大沼 淳日本私立大学協会会

長、中原 泉日本私立歯科大学協会会長、三谷 卓大阪歯科大学同窓会会長の各界代表者の弔辞があり、弔電紹介、参列者の献花が粛々に行われました。

故 今井 久夫 理事長・学長のご冥福をお祈りし、以下に先生の略歴、大学葬の内容を掲載させていただきます。



故 今井 久夫 理事長・学長 略歴

- 昭和13年 6月15日 大阪にて出生
- 昭和38年 3月 大阪歯科大学卒業
- 昭和38年 5月 大阪歯科大学副手
- 昭和39年 4月 大阪歯科大学助手
- 昭和44年 4月 大阪歯科大学大学院助手
- 昭和45年10月 大阪歯科大学講師
- 昭和45年11月 大阪歯科大学大学院講師
- 昭和47年 3月 歯学博士（大阪歯科大学）
- 昭和47年 4月 大阪歯科大学助教授（歯周病学講座）
- 昭和47年 5月 大阪歯科大学大学院助教授
- 平成 7年 8月 大阪歯科大学教授（歯周病学講座）
- 平成 7年 9月 大阪歯科大学大学院教授（歯周病学）
- 平成 9年 4月 大阪歯科大学附属病院 副病院長
（平成12年8月迄）
- 平成12年 9月 大阪歯科大学附属病院 病院長
（平成17年3月迄）
- 平成13年 4月 学校法人大阪歯科大学理事
- 平成16年 9月 大阪歯科大学学長
- 平成16年11月 学校法人大阪歯科大学常務理事
- 平成16年12月 学校法人大阪歯科大学評議員

平成17年 9月 学校法人大阪歯科大学理事長職務代行（平成18年4月迄）
 平成18年 3月 定年退任
 平成18年 4月 大阪歯科大学名誉教授
 平成18年 4月 学校法人大阪歯科大学理事長
 平成19年 8月16日 逝去（69歳）

主な社会活動

昭和46年 4月 日本歯周病学会評議員
 昭和46年 4月 日本歯科保存学会評議員
 昭和47年 2月 大阪歯科学会評議員
 平成 7年 8月 大阪歯科学会理事
 平成 7年10月 日本歯周病学会理事
 平成 8年 4月 日本歯科保存学会理事
 平成 9年 4月 日本歯周病学会常任理事
 平成13年 4月 日本口腔衛生学会評議員
 平成13年 6月 日本歯科医学教育学会評議員
 平成14年 1月 大阪歯科学会監事
 平成17年 7月 日本歯科医学教育学会理事
 平成18年 4月 日本再生歯科医学会理事
 平成18年 5月 特定非営利活動法人日本歯科保存学会名誉会員
 平成18年 6月 社団法人日本私立歯科大学協会監事
 平成18年 6月 財団法人歯科医療研修振興財団監事
 平成19年 2月 日本私立大学協会理事
 平成19年 4月 財団法人ライオン歯科衛生研究所理事
 平成19年 5月 特定非営利活動法人日本歯周病学会名誉会員
 平成19年 8月 大阪口腔衛生協会顧問

当日の式次第

1. 開式
1. 黙祷 一同
1. 葬送の辞 葬儀委員長 村上 勝 本学理事長職務代行
1. 弔辞

- 1) 太田 房江 大阪府知事
代読 笹井 康則 大阪府健康福祉部長
- 2) 江藤 一洋 日本歯科医学会会長
- 3) 大沼 淳 日本私立大学協会会長
代読 廣川 利男 東京電機大学学園長
- 4) 中原 泉 日本私立歯科大学協会会長
- 5) 三谷 卓 大阪歯科大学同窓会会長

1. 弔電紹介

1. 挨拶 葬儀副委員長 新田 孟 常務理事

1. 葬儀委員長、葬儀副委員長 献花

1. 遺族献花 遺族代表に引き続き遺族一同

1. 代表者献花

- 1) 弔辞捧呈者
- 2) 木下 誠 枚方市副市長
- 3) 大久保満男 日本歯科医師会会長
- 4) 岡 邦恭 大阪府歯科医師会会長
- 5) 田中 昭男 日本歯周病学会代表（本学教授）
- 6) 松島 悌二 日本学校歯科医会会長
- 7) 羅 田 廣 中華人民共和国駐大阪総領事・中国協定5大学代表
- 8) 中尾 眞 日本歯科商工協会会長
- 9) 橋本 猛伸 学校法人大阪歯科大学理事会代表
- 10) 成瀬 悟 学校法人大阪歯科大学評議員会代表
- 11) 井上 宏 大阪歯科大学教授会代表
- 12) 田中佐和子 大阪歯科大学教職員代表
- 13) 沖田 和久 大阪歯科大学父兄会代表
- 14) 田治米保夫 大阪歯科大学共済会代表
- 15) 中原 爽 前参議院議員
- 16) 本学学生代表
 - (1) 金田 一弘 大学院生代表
 - (2) 足立 淳 大学生代表
 - (3) 仲宗根有希子 歯科技工士専門学校生代表
 - (4) 西尾 昭美 歯科衛生士専門学校生代表
- 17) 高松 平人 大学11回卒業生代表
- 18) 末瀬 一彦 大阪歯科大学歯科技工士専門学校校長
- 19) 矢尾 和彦 大阪歯科大学歯科衛生士専門学校校長

1. 献花 参列者

1. 閉式

葬送の辞

葬儀委員長 村上 勝 理事長職務代行



葬儀委員長 村上 勝 理事長職務代行

今井理事長・学長の遺影を前に、葬儀委員長としてここに一言葬送の辞を述べさせていただきます。

今井先生が、平成19年8月16日夕刻に亡くなられて、早くも1ヶ月となります。時を経るごとに、お顔を拝見することやお話することができないことへの喪失と深い悲しみをかみしめております。

先生は昭和13年6月15日、大阪府に生まれ、昭和38年3月大阪歯科大学を卒業、同年5月には、副手として教員生活をスタートされました。その後、助手、講師、助教授を経て、平成7年8月に本学歯周病学講座教授に就任されました。平成12年9月には附属病院長に、そして平成16年9月には学長となり、学生のためをモットーにカリキュラムの改革、教員の資質向上など積極的に推進してまいられました。平成18年4月、理事長に就任されてからは、教学と経営の両面からリーダーシップを発揮され、常に学生、教職員、法人役員の先頭に立って多大の貢献をされました。学長就任早々の平成16年9月、本学広報誌の中で、先生は、「立派でなくても慕われる学長を目指して」と題する一文で、次のように述べられております。「本学教職員すべての方々から慕われ、親しまれる、開かれた学長を目指してがんばりたく考えております。」先生はまさにこの文章の通り、開かれた学長として、学内外を問わず、誰からも信頼され、高潔無比、かつ謙虚な人格

者でありました。なぜこのような逸材をこの時期に失わねばならないのか、運命の過酷な現実にはしみは止まるところがありません。

学長職、理事長職として、誠実に職務を遂行されていた矢先、本年1月23日、体調を崩されて入院を余儀なくされました。しかし、その後も病室にパソコンを持ち込まれ、本学の様々な諸課題解決案を作成されました。本学の平成18年度事業報告、平成19年度事業計画も、先生のまさに心血を注いだ力作であります。そして5月には退院され、理事会、教授会にも元気なお姿を見ることができ、本当に安堵をいたしました。しかしその後再度入院となり、心配をしていたところ、急逝をされました。

人間はその生命が終わる瞬間に、人生のすべての出来事を走馬燈のように見ることができるとよく言われています。病室で、奥様とご家族に看取られ、その生涯を終わるその時に、先生の目にはいったいどのような情景が去来したことでありましょう。学生たちに人気のある先生でしたから、質問にも丁寧にお答えいただいたのではないかと思います。学生からの質問攻めにあったある日の講義風景だったのでしょうか。先生は患者様にとってとても人気があり、ユーモアのこもった語り口で日頃診察されていたと思います。もしかしたら、先生のファンの患者様に対する心のこもった治療情景だったかもしれません。もう先生に対して何を問いかけてもお返事がないことはわかっていながら、つい問いかけてしまう気持ちに立たれてしまいます。今、先生が傍らにおられたらどんなにか心強いことでしょう。叶わないこととは知りつつ、今一度励ましの言葉をかけて欲しいとの念に駆られております。しかし、悲しみは絶対に乗り越えなければなりません。なぜなら、私たちは先生が見ることのできないこれからの未来に生きていくからであります。本日この時から、先生のご遺影を前に、未来に向かって大阪歯科大学のますますの発展を期することを強くお誓い申し上げます。どうかいつまでも見守っててください。我々の心の中に、先生は生き続けています。

ここに今井先生を偲びつつ、心から尊敬と感謝を捧げ、謹んでご冥福をお祈り申し上げ、葬送の辞の結びといたします。

弔辞

太田 房江 大阪府知事
(代読：笹井 康則 大阪府健康福祉部長)



大阪府健康福祉部長 笹井 康則 氏

本日ここに大阪歯科大学理事長であり学長であられました、故今井久夫先生の学校法人大阪歯科大学葬が厳粛に挙行されるに当り、大阪府民を代表し、衷心より哀悼の意を表し、謹んで弔辞を捧げます。

先生は昭和38年3月に、大阪歯科大学をご卒業され、同校にて歯学博士の学位を受領された後、同校大学院教授、附属病院院長、学長、名誉教授などを歴任され、歯科医学に関する研究、人材の育成、地域の歯科保健医療の充実に、全身全霊を捧げられました。また、学校法人大阪歯科大学理事長として法人経営にも多大な足跡を残されました。先生ご生前のご遺徳は、あまねく貴学の役員、教職員の方々をはじめ、学生のみなさまにも受け継がれ、医学隆盛の源となることを固く信じるものであります。

先生は大学外におかれましても、社団法人日本私立歯科大学協会監事、歯科医療研修振興財団監事、日本歯周病学会常任理事、日本歯科保存学会理事、日本口腔衛生学会評議員、日本歯科医学教育学会理事などの要職に就かれるとともに、平成17年には、厚生労働省が設置した、今後の歯科保健医療と歯科医師の資質向上等に関する検討会の委員にご就任されるなど、我が国の歯科保健医療の向上に多大の貢献をなさいました。とりわけ、大阪府にとりましては、府内において優秀な歯科医師を多数輩出していただきますとともに、大

阪口腔衛生協会顧問として歯科保健医療の充実に格別のお力添えをいただいたところであり、深く感謝しております。私どもといたしましても、これからも更なるご指導をいただけるものと思っておりましたところ、突然の悲報に接し、ご遺族の方はもとより大学関係者のみなさまのお嘆きはいかばかりかと、心中お察しするにあまりあるところでございます。その悲しみは大阪府にとりましても、とうてい一朝一夕にぬぐい去ることのできないものでございますが、先生のお教を胸に、大阪府といたしましても歯科保健医療の向上に邁進する決意でございます。

ここに改めて先生ご生前のご功績に対し、深甚なる敬意と感謝の意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りいたしまして弔辞といたします。

弔辞

江藤 一洋 日本歯科医学会会長



日本歯科医学会会長 江藤 一洋 氏

本日ここに、大阪歯科大学理事長・学長、故今井久夫先生の告別式に当り、謹んで先生の御霊前に、日本歯科医学会を代表して、お別れの言葉を捧げ、深く哀悼の意を表します。

平成19年8月16日に、先生のご訃報に接し、去る7月5日、岐阜で開催された日本歯科医学教育学会でお目にかかったばかりでありましたので、私たち一同にとりましては、誠に大きな驚きでありますとともに、

深い悲しみを覚えました。先生は高邁なる人格と人間味豊かにして包容力に富み、その卓越した鋭敏なる時代感覚を持って、大阪歯科大学における歯科医学教育、研究、臨床に多大な貢献をされてこられました。我が国の歯科医学の発展、歯科医療の向上に力を尽くされた先生の顕著なご功績に改めて敬服を表する次第であります。

先生は、昭和 38 年に大阪歯科大学をご卒業になるや、歯周病学の道を選ばれ、その後、平成 7 年には母校の大阪歯科大学教授として、多くの後継者を育てられました。先生の巧みな話術と豊富な臨床症例を交えての講義は、学生の間で極めて好評であり、また歯周組織の再生に関する講義は、大学院生の研究に多大な示唆を与えられたと伺っております。先生はまた、臨床に直に役に立つ研究を念頭に置かれ、歯周組織再生治療の臨床と研究に積極的に取り組まれて、日本における歯周病学の発展に多大な功績を残されました。さらにその足跡は、専門の歯周病学領域に留まらず、学内、学外においても数多くの要職を歴任され、我が国の歯科医学全般の学術振興発展のために大変なご活躍をされましたことは、すでに衆目の認めるところでございます。

先生は平成 9 年に、大阪歯科大学附属病院副病院長、平成 12 年には病院長に就任され、患者、国民のための歯科医療を第一義に掲げ、地域歯科医療の中核病院としての役割を果たすため、様々な改革を推進され、現在でもその精神が脈々と継承されております。その後、先生は平成 16 年に大阪歯科大学学長に就任されますと、その明朗闊達な性格と相まって、天分の指導力を遺憾なく発揮されました。大阪歯科大学の建学の精神に基づく先生の教育における哲学は、先輩やご両親、恩師や同僚等から授かった、恩義、温情、人情に対する感謝の念を礎とし、先生自らが率先垂範され、周りの方々から慕われ親しまれる歯科医師養成教育を一貫して貫かれました。そこには、常に学生による学生のための大学を教育理念に、学生のための大学管理運営が浸透していたことは、先生の心優しい、飾り気のないお人柄によるものでございました。学生に愛され、学生を慈しみ、大切にされた先生の周りには、自然と学生が集まるような雰囲気が漂っておられました。今、先生と幽明界を異にした私たちは、在りし日の先生を偲び、先生がこよなく愛情を捧げられた歯科界を、先

生のお心を忘れず、ますます発展向上させることこそ、先生のご遺志に添うものと信じております。

本日先生とお別れするに当り、生前のご功績を改めてかみしめ、先生のご努力を無にすることのないよう、希望に満ちあふれた心豊かなる歯科界の実現のため、全力を尽くしてまいりますこととお誓いし、先生の御霊が永遠に安らかでありますよう心よりお祈り申し上げ、弔辞とさせていただきます。

弔辞

大沼 淳 日本私立大学協会会長
 (代読：廣川 利男 日本私立大学協会副会長)



日本私立大学協会副会長 廣川 利男 氏

本日ここに、学校法人大阪歯科大学理事長・学長、故今井久夫先生の大学葬がしめやかに執り行われるに当り、日本私立大学協会を代表して、心から哀悼の誠を捧げ、謹んで追悼の言葉を申し上げます。

ただいま、先生の遺影の前に立ちますと、先生の在りし日のお姿が偲ばれてまいります。私学経営はすこぶる多難の折、今井先生の一層のご活躍に大きなご期待を申し上げてまいりました我々私学人一同は、あまりに突然な先生のご逝去に驚愕いたし、深い悲しみの念を禁じ得ないのであります。

顧みまするに、先生は昭和 38 年、大阪歯科大学を卒業され、大阪歯科大学副手、助手、講師、助教授、教授を経て、平成 12 年大阪歯科大学附属病院長、平成 16 年大阪歯科大学学長に就任されるとともに、平成 18

年には学校法人大阪歯科大学理事長に就任されました。以来44年間の長きに渡り、今日まで学園の崇高なる建学精神の具現者として、すなわち新時代の歯科医療を担う人間としての、調和のとれた人材育成に専念され、学校法人大阪歯科大学の充実発展に心血を傾注してまいられたのであります。大学における先生は、人情、そして温情、恩義の人生訓を礎として、歯科医学の教育、研究、臨床に尽くすとともに、学長として教授会の運営に当りましては、学生中心の大学教育の実現を常に念頭に置きながら、カリキュラム改革の推進や大学教員の職階の変更、あるいは資質向上など多くの改革に努められました。一方、理事長として大学改革、特に財務改革に尽力され、その職務を果たされました。

さらに、先生には平成19年2月より、本協会理事として全国的視野に立たれての、私立大学の振興に指導的役割を果たしていただきました。先生はその生涯を通して、慈父のごとく学校法人大阪歯科大学を愛し、我が国私立大学の振興に捧げ尽くされたのであります。私学人一同、その崇高なるご生涯に対し、心から深甚なる感謝と敬意を表する次第であります。



大学葬の会場の様子

先生のご生前の数々のご功績とご遺徳は、学校法人大阪歯科大学関係者の胸に永遠に継承され、必ずや大学の一層の隆昌がもたらされるものと深く確信するものであります。我々もまた、絶えず先生のご遺風を偲び、協力一致のもとに英知を結集し、私学に課せられた責務を果たすべく決意と覚悟とを新たにいたしております。

ここに日本私立大学協会は、謹んで故今井久夫先生のご冥福を祈り、ご生前の数々のご功績に対し、衷心より重ねて敬意と感謝の念を捧げ、お別れの言葉といたします。今井久夫先生、安らかにお眠りください。

弔辞

中原 泉 日本私立歯科大学協会会長



日本私立歯科大学協会会長 中原 泉 氏

本日、学校法人大阪歯科大学理事長・学長、故今井久夫先生の大阪歯科大学大学葬が執り行われるに当り、社団法人日本私立歯科大学協会を代表して謹んで哀悼の意を捧げます。

このたびの先生のご逝去は、私どもにとりまして、言いようのない悲しみでございます。ご遺族の方々は申すまでもなく、大学関係者のご無念はさぞかしとお察し申し上げます。今井先生は、平成12年9月、大阪歯科大学附属病院院長ご就任と同時に、私どもの日本私立歯科大学協会の会員として入会され、病院部会の事業遂行にご支援、ご協力をいただきました。平成16年9月、大阪歯科大学学長にご就任されてからは、教育研究部会の主要メンバーとして、その事業遂行に大いにご活躍いただきました。平成18年4月、大阪歯科大学理事長ご就任に伴い、本協会理事として、同年6月からは監事として、本協会の管理運営等に多大なるご尽力を賜りました。現在我が国の歯科医師養成の約75%は、私立歯科大学が担っており、私立歯科大学

の振興を図る私ども協会にとりまして、今、今井先生を失いますことは誠に計り知れない損失でございます。

去る6月27日に、帝国ホテルで開催しました私どもの協会設立30周年祝賀式典に、先生は病中にも拘らずお越しくださいました。私はいつも通り、ダンディなお姿の先生と固い握手を交わしました。先生のご回復を信じておりましたので、それが先生との最後のお別れになるとは思いませんでした。今後、私立歯科大学を取り巻く情勢はますます厳しいものになってまいります。私ども一致協力して、さらに努力を続けていく所存でございます。

今井先生の遺影の御前で、改めて先生の偉大さを偲び、御霊の安からんことを祈り、ご遺族のみなさまにはお慰めの言葉も見つからないまま、お別れの言葉といたします。今井先生、安らかにお眠りください。

弔辞

三谷 卓 大阪歯科大学同窓会会長



大阪歯科大学同窓会会長 三谷 卓 氏

全国1万有余の会員を代表して、謹んで故今井久夫学長・理事長の御霊に哀悼の誠を捧げます。

先生は、学長、理事長にご就任以来、その役職に精力的に取り組まれ、大学財政の改善、教育の向上のために、寸暇を惜しんで真剣に取り組み、努めてこられました。ようやくこれからその成果を見ようとするとき、ご病気になられ、今御霊前に改めて葬送の言葉を

申し上げることは、私どもにとって誠に慚愧に耐えない思いであります。先生は常々、同窓会と大学は両者が唇齒輔車の関係にあり、同窓会は大学にとって大きな後ろ盾として結束し、発展することを願ってこられました。全国各地での同窓会の会合には、いつもお元気なお姿で出席され、広く同窓会員との交流に努めていただきました。また、少子化、定員削減の中で、各地からの母校への進学を気遣われ、県支部同窓会のためにもご尽力いただきました。学長としてのこの温情とご熱意は、母校を支える根柱であり、会員も広く信頼と期待を寄せていたところでもあります。

思い返せば先生は、ボクシング部での青春、歯周病学講座の育成、徳子奥様とのおしどり二人三脚、そして学長としての大輪の花咲く立派な道のりでありました。同じ世代を歩んできたものとして、懐かしさとともに感謝の念で一杯であります。

今こうして、幽明界を異にしましたが、この上は、ご家族のみなさまへのご加護を賜りますように、また同窓会後輩たちが、先生のご遺志を体し、それぞれの場で活躍発展できますようにお守りください。最後のお願いとして、お守りくださることをお願い申し上げ、お別れの言葉といたします。

以上の弔辞ののち、文部科学省高等教育局私学部長磯田文雄氏、大阪市長關淳一氏、他の各界から多数の弔電紹介があり、引き続き、葬儀副委員長の新田 孟常務理事から参列者各位に対して、以下の挨拶があった。



左から

葬儀委員長 村上 勝 理事長職務代行
葬儀副委員長 新田 孟 常務理事
今井 徳子 様 (故 今井理事長・学長夫人)
葬儀副委員長 中村 正明 常務理事
葬儀副委員長 川添 堯彬 学長職務代行

いただきました。我々も故今井理事長・学長のご遺志を受け、今後とも本学の発展を願う進取の精神を引き継ぎ、今後の大学をめぐる厳しい環境を乗り越えてまいる所存でございます。本日のご参列、誠にありがとうございました。

以上の挨拶ののち、参列者各位の献花に移り、閉式となりました。

挨拶

葬儀副委員長 新田 孟 常務理事

本学を代表し、一言ご挨拶を申し上げます。本日は、故今井久夫理事長・学長の大学葬に際し、大変お忙しい中にも拘りませず、かくも大勢のみなさま方にご参列いただき、誠にありがとうございました。

故人は、在職44年にわたり、歯周病学講座の主任教授、そして理事長、学長として強いリーダーシップを発揮され、教育、研究に、また、本学の管理運営に不惜身命の精神で邁進されてこられました。そんな矢先、本年1月23日、体調を崩され入院、5月には職場に復帰されましたが、8月16日、帰らぬ人となりました。

故人は人情味が厚く、誰に対しても誠心誠意、公平無私の方でございました。そして誰もがその風格を親しみ、その徳を慕ってまいりました。その責任感の強さは、その生命が燃え尽きようとする寸前まで、数多くの責務を果たしてこられました。そのお姿を我々はまざまざと思い浮かべることができます。私どもに深い感銘をお与えになりました。

本日は、その上にたくさんのご弔辞、またご弔電を

大阪歯科大学広報 第148号

発効日 平成19年12月1日

編集発行 広報委員会

〒573-1121 枚方市楠葉花園町8-1

電話 072-864-3111